

2022年度（2023年3月期）第二四半期決算発表説明会

Q&A

- Q1：豪州上流事業売却（10月7日公表）により獲得するキャッシュを、どのような投資領域に活用していくのか。
- A1：国内・海外含めた投資案件リスト（短期および長期）をもとに、再生可能エネルギー含む電力事業、資源開発事業、水素関連技術開発等、リスクが異なる様々な案件について、優先順位をつけながら検討を進めている。「Compass Action」で示した成長領域への投資へ振り向けていく。
- Q2：経営ビジョン「Compass2030」において、海外セグメントの利益目標を500億円と掲げている中、豪州上流事業売却により減少する利益規模をどのように補っていくのか。
- A2：豪州上流事業をはじめとする海外事業における現在の利益水準は、経済フレームによる外部環境の影響も大きいことを認識している。これを考慮すると、豪州上流事業売却により利益が減少する想定においては、500億円という目標は決して容易ではないが、「Compass 2030」並びに「Compass Action」で掲げた、事業ポートフォリオの入れ替えを進めるとともに、戦略投資を海外事業において実行していく。具体的には、海外での再生可能エネルギーや、水素・植生・CCS・再生可能ガス等のCO2 ネット・ゼロ事業への投資を想定している。なお、足元では北米で手掛けるシェールガス事業や再生可能エネルギー事業が収益化しつつある。
- Q3：今回見通しにおいて、一定程度のリスクを織り込んだということだが、どのようなリスクを織り込んだのか。
- A3：世界的なエネルギー動向を踏まえ、原料調達リスクや原料価格上昇、需要変動などの不確実性が増している中で、LNG および電力等において、一定程度の収支変動リスクを織り込んだ。

以上